

続・ふるさと

柔道整復師の制度化に

奔走した人⑦

第24回

大正2年7月、柔道接骨術公認期成会が結成され、請願運動が大々的に展開された前後から、期成会の中心人物の萩原七郎が、東京府柔道整復師会々長を辞任した昭和5年3月までの17年間を日本柔道整復師会の第1期と区分する。この期間は、責任と指導を東京府柔道整復師会が中心となり動いていたことから、まさに「萩原時代」と呼んでも過言ではない。公認運動の最後の難関は、国の医事を決定する中央衛生会の10人の委員の採決にかけられたことである。萩原七郎は中央衛生会の委員長の軍医総監高木兼寛閣下に拝謁し、国技柔道と

整骨術の由来を説き、柔道家の興亡は整復術の公認に深くかわることを訴え、その結果、6対4の審議結果で柔道整復術を公認するよう決した。大正9年4月21日、内務省令が改正され、柔道整復術を公認した。4月28日、公認祝賀会を開き、柔道接骨術公認期成会を解散し、大日本柔道整復術同志会として発足。大正11年4月、大日本柔道整復術同志会を大日本柔道整復師会と改称した。昭和11年1月、かねてより運動中であつた柔道整復師の健康保険被保険者診療請願が認可され療養費の委任払いも獲得し、今日に及んでいる。

昭和20年3月、東京大空襲で戦災に遭い東京での会長職を辞して、祖母井町へ身を寄せた萩原七郎は、再び東京に戻れず、全国の同志からの救済の見舞いに励まされ晩年を過ごした。

幾多の狭間の中で時の流れに竿さし、柔術と接骨術を頑なに継承し波瀾万丈の人生を送った萩原七郎も昭和40年2月26日、86歳の生涯を閉じた。氏の萩原整骨院は、子息の利光氏が受け継いでいる。



▲柔道整復術 営業免許

編集後記

□新年もあつという間に過ぎてしまひ年度最後の発行となりました。役場では定期人事異動の季節でもあり担当は緊張します。
□遅ればせながら年賀状を整理していると、仕事柄なのか家族や子どもの写真が目につきます。皆さん見事に目線が合っていて、いったいどれ程のやり直しをしたのだらうと感動してしまいます。
■年度末の広報づくりでは卒業式や各種行事で子どもたちの写真が多いのですが、子ども達の目線を写真に固定するのは実に困難です。必ず誰かがそっぽを向いていますね。

(まんじゅう)



Anas: formosa (全長40cm) 美しい顔をもつカモ類

名のとおり、雄はトモエ模様(黄色と黒と緑)の顔をしているカモで、太平洋側の湖沼や河川には少ないが、北陸や東北地方には時折大集団でいることがある。石川県の鴨池には毎年数千羽の集団で飛来する。

体はコガモよりやや大きいのが遠くからみるとほぼ同じくらいである。雄は特徴のある顔面で、胸の下側と腰の部分に白い三日月紋があり体全体は灰色で、くちばしは黒い。雌は褐色のウロコ模様でコガモと似ており、眉紋は薄白くはつきりしないが、くちばしの元に近い部分に淡色の小円紋が浮き出ているのでかろうじて区別が出来る。

水面で休んでいるときには腰を高く持ち上げるようにしている。

- 編集 芳賀町広報広聴委員会 ☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課 栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス <http://www.town.haga.tochigi.jp>
- 苦情専用フリーダイヤル ☎0120(753)898
- 芳賀町の携帯サイトはコチラから➡

